特別講演１

「eGFR slope に着目した CKD/DKD 早期管理の重要性
～Long term eGFR plot（LTEP）を共通言語に～」

市立大津市民病院内科診療部長（腎臓内科部門）
血液浄化部診療部長
中澤　純　先生

成人の 5 人にひとりが CKD とされ、施設形態や診療科に関わらず一定の CKD 診療スキルが求められます。腎機能指標として eGFR が一般化しましたが、これまでの評価法では多くの腎予後不良症例が見逃されてきました。そこで eGFR の長期推移を一括表示する「Long term eGFR plot（LTEP：エルテップ）」を提唱しています。LTEP で eGFR slope を俯瞰的に評価することで、腎予後不良症例の早期発見が可能となり、治療効果も明確となります。LTEP は Excel の第一世代から、自動的に描画しかつ尿蛋白や HbA1c 等の長期推移も併記される第三世代まで発展しており、施設のニーズに合わせた導入が可能です。

また、CKD/DKD 診療では SGLT2 阻害薬が欠かせない治療選択肢となっており、活用法に習熟することが望まれます。

本講演では、LTEP を活用した CKD/DKD 診療と SGLT2 阻害薬ダパグリフロジンの活用法について、概説致します。